も

物

る	い

足

け

思	い

合

中

下

と

て

←

呼

ば

は

る

十

～

る

ざ

け

ど

)

び

舟

言

二

け

れ

、馬

(大

た

は

、平

あ

仏

に

祈

原

。藤

二

。

れ

む

泉

で

、平

断

の

な

と

ざ

ね

て

し

ま

が

、騒

ぬ

し

か

騒

毎

分

く

間

く

別

よ

く

ご

べ

く

思

ひ

て

完

長

了

く

の

間

あ

も

す

る

こ

れ

館

。か

て

人

る

年

国

が

ど

の

取

方

の

、

す

べて

な

解

は

つ

ど

文

つ

貫

い

い

わ

の

中

き

、

よ

ぜ

に

。次

段

・

由

・理

→

前

の

れ

時

刻

月

の

の

余

り

一

日

ひ

し

年

後

た

女

と

リ

女

私

み

と

っ

日

平

仮

出

日

…

個

的

・平

仮

集

平

仮

容

と

呼

む

さ

か

・成

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)

(外

間

仮

條)
四日。かち取り。今日。風・雲・光はだしあしと。\n忘れて。

この泊りの浜にこさくのうるはしき見。石など多く。

忘れて。

忘れて。

忘れて。